

近代化遺産を活用したまちづくりに関する一考察 ～ 市民団体としての取り組みと近代化遺産イラスト画の製作 ～

足利大学工学部 学生会員○福地 晴香
足利大学工学部 正会員 福島 二郎

1. はじめに

慢性的な人口減少や少子高齢化等の進行に伴う諸問題が顕在化する中で、地方都市では地域の維持とその先の活性化に向けた取り組みが急務となっている。従来までの大規模な資金投入によるインフラ整備を中心とした活性化手法に代わり、地域のアイデンティティとしての歴史文化の活用が着目され、その一つとして近代化遺産を活用した取り組みが各地で行われている。本稿では、近代化遺産を活用し市民団体として取り組んだ活動成果の報告、さらにあらためて実施した現地調査により、現存する施設の詳細情報を整理した。現在、それらの情報発信手法としてイラスト画の製作を進めており、その狙いについて述べるとともに、期待される効果等について考察することを目的とする。

2. 近代化遺産活用によるまちづくりへの取り組み

(1) 市民団体の創設と活動の概要

足利市には、近世後期から近代前期にかけて興隆・進展した織物業の精華を伝える建造物等が多数現存する。これらの近代化遺産の保存とこれからのまちづくりに向けた活用を目的に、市民団体『足利の近代化遺産を考える会（以下、考える会）』が2017年3月に発足した。この市民団体は、文化財の保護に係る専門家・有志、さらに会が掲げる活動目的に賛同する市民らにより構成され、市内近代化遺産の調査・研究はじめ、その啓発を目的としたシンポジウムや市内外の遺産見学ツアー等が行われている（会員数41名：2018年12月現在）。

(2) まちづくりに向けた取り組み

設立2年目となる2018年度の『考える会』活動として、ここでは3つの取り組みについてまとめた。

① デスティネーションキャンペーンへの参加

足利市観光振興課から『考える会』に対し標記キャンペーン（以下、DC）への協力依頼があった。DCとは、JR旅客鉄道6社と自治体および地元観光業者の協働による大規模な観光キャンペーンであり、2018年度は栃木県を含む4県1市で開催された。『考える会』で

キーワード；地方都市、近代化遺産、まちづくり、イラスト画の製作

連絡先；〒326-8558 栃木県足利市大前町268-1 足利大学工学部 福島二郎 TEL：0284-22-5687 E-mail：fuku@ashitech.ac

表1 DCにおける主な取り組みと入込数

実施主体	「本物の出会い 栃木」DC実行委員会 (県、JR、観光関係団体等150団体で組織)		
開催期間	2018/4/1～6/30		
JRの 主な取り組み	・ 宣伝展開（ポスター制作・掲出、ガイドブック配布、等） ・ イベント列車の運転、等		
栃木県の 主な取り組み	・ 全国宣伝販売促進会議の開催 ・ 観光資源の発掘・磨きあげ等の魅力づくり、発信、誘客、等		
足利市の 主な取り組み	・ 夜の足利学校特別公開、足利氏ゆかりの文化財特別公開 ・ ARTあしかが2018「あしかがアートクロス」、JR東日本/駅からハイキング ・ 臨時観光案内所の開設（JR足利駅/びゅう跡地）、 近代化遺産の解説		
(栃木県) ①観光客入込数 実数/目標値 ②観光客宿泊数 実数/目標値	①25,000,000/25,059,000(人) ②2,500,000/2,035,000(人)	(足利市) ①観光客入込数 実数/前年との増減 ②観光客宿泊数 実数/前年との増減	①1,823,100/127,823(人) ②9,024/△94(人)

表2 『考える会』による近代化遺産解説の概要

開催日時	2018/5/19 10:00～16:30
開催場所と活動内容	内3か所において近代化遺産の解説を行った。 表1に、栃木県および足利市の主な取り組みと観光客数等を、また表2に、『考える会』が実施した近代化遺産解説の概要を示す。 (1)臨時観光案内所（JR足利駅構内） ・ 資料の展示 近代化遺産イラスト&解説（パネル4枚） 過去の足利駅および周辺の写真 ・ 近代化遺産マップの配布 ・ 現地での解説 《人員：4名（内、学生2名）》 (2)旧木村浅七工場棟 ・ 近代化遺産マップの配布 ・ 現地における解説 《人員：4名（内、学生2名）》 (3)旧私立足利盲学校 ・ 近代化遺産マップの配布 ・ 現地における解説 《人員：3名（内、学生1名）》

② 近代化遺産講座の開設

市民向け近代化遺産講座を4回開催した。近代化遺産とその関連知識の理解を深めながら、まちづくりに向けた活用デザインの情報共有がその目的である。市の中心市街地に立地する古民家を会場に、“近代化遺産の華やき”と“古民家の静謐さ”の時空間を提供する企画とした。

表3に、講座の開催概要と参加人数を示す。

③ 近代化遺産講演会の開催

市の近代化遺産の一つ『旧木村家工場棟（栃木県指定有形文化財）』を会場として、佐々木葉氏（早稲田大学教授）による『歴史的鋼橋がつなぐ物語ーりんどう橋と霞橋の事例からー』をテーマに11月11日（日）に開催した。全国において今後課題となる橋梁の更新に係る話題について講演して頂いた（参加者83名）。

表3 近代化遺産講座の開催概要と参加人数

開催日	会場	テーマ	概要	参加人数
第1回	2018/9/22	古民家/N邸	『近代化遺産ってなに?』 ・近代化遺産の定義と保存・活用の意義 ・足利市の近代化遺産の形成過程と特徴 ・足利市の現存する近代化遺産についての解説 (10件、16施設)	17人
第2回	2018/10/20	古民家/N邸	『活用デザインの全国事例を調べてみよう』 ①学校施設 ・文部科学省HP/度校活用リンク集 ・北海道教育委員会HP/度校施設の活用事例集 ②橋梁 ・「日本の近代土木遺産—現存する重要な土木構造物2800選[改訂版]—」より、プレストリプタイドアーチ橋を抽出 ・現存する10橋について詳細解説	17人
第3回	2018/11/10	古民家/N邸	『足利の近代和風建築のはなし』 ・作成した足利市街地の近代建築マップの配布 ・22施設の概要解説 ・旧岡崎家住宅(成岡邸)の詳細解説	20人
第4回	2018/12/15	古民家/N邸	『足利市近代化遺産の活用デザインを考えてみよう』 ・足利の近代化遺産の保存及び活用に関するデザイン案の提示と解説(中橋、旧私立足利盲学校) ・参加者による意見交換	15人

なお、開催チラシは、足利および東京の橋梁をモチーフとしたイラスト画により構成するとともに、講演概要集の表紙も同じイラスト画を掲載した。

3. 足利市近代化遺産のイラスト画の製作

(1) 近代化遺産の調査

2001(平成13)～2002(平成14)年度に栃木県教育委員会主管による『栃木県近代化遺産総合調査』が実施され、433件がリストアップされた。2003(平成15)年3月にその成果として『栃木県の近代化遺産—栃木県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書』が上梓され、このうち足利の近代化遺産は42件であった。その後、2010(平成22)年に当研究室で実施した各市町に対するアンケート調査で7件の消失が確認され、また、2017(平成29)年の『考える会』設立記念シンポジウムに際し、さらに5件の消失が判明した。加えて、本稿における調査により新たに1件の消失が確認され、現存する足利の近代化遺産は29件まで減少していることが分かった。

表4に、現在の足利の近代化遺産29件の概要を示す。

(2) イラスト画の製作と特徴および狙い

近代化遺産の分かり易い広報手法として、近代化遺産29件のイラスト画の製作に着手した。これまでの近代化遺産解説に際しイラスト画の展示は行っていたが、細密画によるさらなる情報発信のツールとして企図したものである。今回の製作では、イラスト画に詳細な解説を分かり易く加えて一体化させた。個々の近代化遺産が持つ特徴や評価すべき点などの情報を集約し、一枚の画面に納めることにより視認性を向上させ、より深い認知を付与することが期待できると思われる。現地訪問に代わる視覚的情報源として用いるとともに、写真と比較した際の利点として、主体を明確

表4 足利市の近代化遺産

番号	遺産名称(現在の名称)	分類	形式	備考
1	足利学校遺跡(現在:足利市立足利高等学校)	教育・文化	木造平屋建	市指定 1994(平成6)年3月22日
2	足利の水邊施設 ①緑町水邊管理事務所(緑町水邊水邊山記念館) ②番水井・配水池・計量室 ③今福浄水ポンプ場	土木	木造平屋建 RC造 RC造	国登録有形文化財 2006(平成18)年3月2日
3	毛野高等学校第2分校(旧毛野小学校大久保分校)	教育・文化	木造平屋建	
4	足利信用金庫遺跡	産業	石造2階建	
5	旧木村清七工務事務所(足利博物館記念館)	産業	石造2階建	栃木県指定 1989(平成元)年8月25日
6	旧木村清七工務工庫棟(旧戸公民館ホール)	産業	木造平屋建	栃木県指定 1989(平成元)年8月25日
7	小嶋製薬工場(喜多家住宅)	交通・通信	木造2階建	
8	足利機織部工業(フナタス工場)	産業	石造平屋建	国登録有形文化財 1999(平成11)年11月18日
9	足利機織株式会社(鷹トチセン)	産業	煉瓦造2階建	国登録有形文化財 1999(平成11)年11月18日
10	足利織物加工局	産業	木造2階建	
11	私立足利盲学校	教育・文化	木造2階建	
12	松村製菓	産業	木造2階建	
13	谷沢池	教育・文化	木造2階建	
14	増田家住宅・旧工庫	教育・文化	木造2階建	
15	旧織物部工業	産業	煉瓦造	
16	旧織田牧場	産業	木造2階建	*事務所現存。牛舎は消失
17	中村酒造店 酒蔵	産業	木造2階建	
18	森林寺本堂	教育・文化	RC造平屋建	国登録有形文化財 2004(平成16)年6月9日
19	織物神社社殿	教育・文化	RC造平屋建	国登録有形文化財 2004(平成16)年6月9日
20	国鉄足利駅舎(旧国毛線足利駅舎)	交通・通信	木造平屋一部2階建	
21	中橋	交通・通信	タイドアーチ橋	
22	渡良瀬橋	交通・通信	鋼架橋	
23	旧地蔵橋	交通・通信	鋼架橋	国登録有形文化財 2006(平成18)年10月18日
24	増田川橋梁(増田川橋)	交通・通信	石造・灰造橋	
25	旧花道橋	交通・通信	石造	*閉鎖 旧田沼町(現在:野市)指定 1994(平成6)年2月21日 *立入禁止
26	大正トンネル 明治トンネル	交通・通信	トンネル	
27	旧三橋渡り	交通・通信	橋	
28	旧渡良瀬橋	交通・通信	橋	
29	増田用水 大前・栗田用水	土木	土木	
29	足利県古民家群	土木	土木	市指定史跡 2002(平成14)年11月14日 *調査後、地中保存

注) 分類内訳 ①産業、②交通・通信、③土木、④軍事、⑤教育・文化、⑥その他

にし、その特徴を強調し得る表現が可能であることを踏まえ、その効果は大きいものと考えられる。

図1に、製作したイラスト画を示す。

4. まとめ

本研究の成果は、以下のとおりである。

(1) 市に現存する近代化遺産の情報発信として、いくつかの機会と創出する取り組みを模索し、その手法および方向性の妥当性を確認した。

(2) 情報発信手法としてこれまでで活用してきたイラスト画を基に、遺産が有する特徴・ポイント等を付与した新たなイラスト画を検討し、知識の増幅とより視認性・認知性に優位なツールとして製作した。

今後は、取り組みの定例化を図るとともに、今回製作したイラスト画の有効性について、数量的把握を目途とした取り組みを行いたいと考えている。

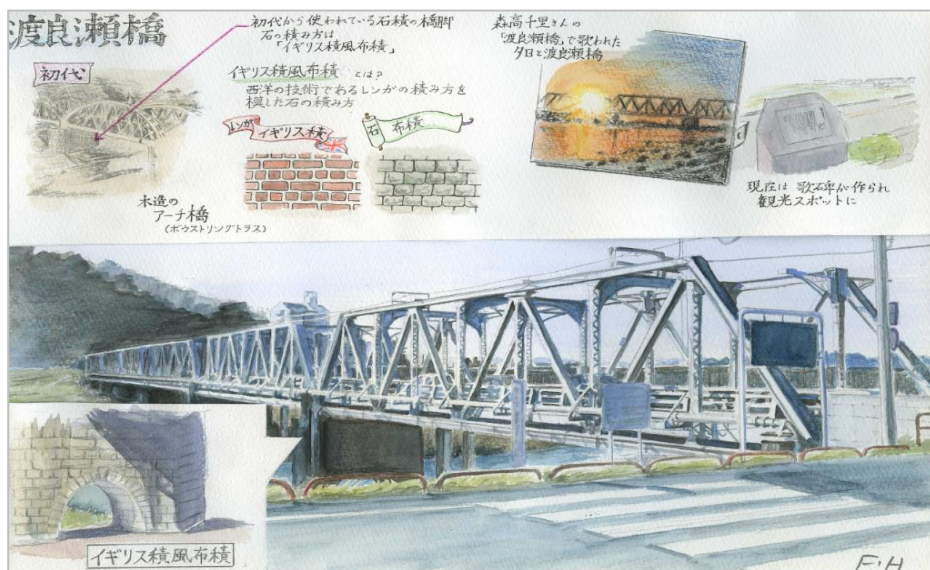


図1 製作したイラスト画の事例(渡良瀬橋)